

**理数科1年 SRMミニ探究発表会 開催(11/20)**

本校では、11月20日(木)6・7限に、理数科1年生を対象とした「令和7年度ミニ探究発表会」を開催しました。本発表会は、学校設定科目(SRM)の一環として取り組んできたミニ探究の成果を共有し、次年度から本格的に始まる「スーパーサイエンスリサーチ(SSR)」への導入となる重要な行事です。また、**ポスター発表**という形式を通して、生徒一人ひとりの発表力・表現力の向上を目指しています。

**【発表会の概要】**

日時:令和7年11月20日(木) 6・7限  
場所:宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校 大会議室  
対象:理数科1年生 82名(16グループ)  
※中学生(2・3年生)もオブザーバーとして参加しました。  
分野:物理・化学・数学・生物(各4班)  
発表形式:ポスター発表(8分発表+2分質疑)



生徒たちは、設定されたテーマについて、調査・実験・分析を行い、その成果をポスターとしてまとめました。当日は多くの班が視覚的に工夫された資料を用意し、審査員や聞き手からの問い合わせにも自分の言葉で丁寧に答える姿が見られました。

発表は4分野が同時進行で行われ、A～Dの班に分かれて時間をずらしながら発表を実施しました。各回の問には質疑応答や評価、移動時間を確保し、スムーズに進行しました。生徒は発表者としてだけでなく、聞き手としても積極的に質問を行い、互いの研究内容を理解し合う貴重な機会となりました。

大会議室にはパネルを活用してポスターが掲示され、研究発表会さながらの雰囲気が作られました。発表を聞きながら評価用紙に記入し、終了後にformを用いて入力するなど、**ICTを活用した評価方法**を取り入れています。

今回のミニ探究発表会は、1年生にとって「**問い合わせて、調べて、まとめ、伝える**」探究活動の第一歩となる大変有意義な時間となりました。今後、SSRでさらに深まる探究活動に向けて、今回の経験を生かしてほしいと思います。

今後も、本校では**主体的に学ぶ生徒の育成**に力を入れてまいります。

**理数科2年「実験合宿」間近！現在準備中！**

R7のSSH事業の目玉は、12月17日から19日まで、学校を飛び出し、大学の施設を活用して研究を行う「**実験合宿**」です。現在大学とのオンライン講習や、各種準備を行っている真っ最中です！

協力いただく大学・研究機関は右の通りです。ご協力感謝します！↗

**普通科2年「郷土探究」コンペティション開催(11/19)**

普通科2年生は、都城市役所のサポートを受けながら、地域課題解決型の探究活動「**郷土探究**」を実施しています。

本年度は**都城市役所8部署**に協力を得ながら、以下の分野に分かれ、活動に取り組んでおります。

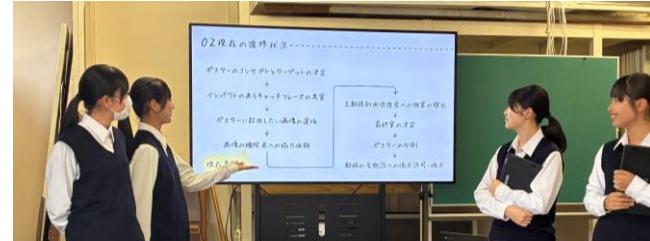
- ①JR吉都線の利用促進について
- ②「人口減少から人口増加へ」都城市の人口戦略
- ③国スポ・障スポに向けたオール都城の取組について
- ④国際交流と多文化共生
- ⑤中心市街地の活性化
- ⑥都城市の宝に光をあてよう！～地域の歴史資料活用～
- ⑦地域医療体制の確保
- ⑧教員不足解消へ向けた取組について

生徒達は**週2時間**ある「理数探究」の時間に、各分野においての小テーマごとにチームを作り、それぞれの課題解決策を模索していきます。アンケートを実施したり、現地調査を行い現状を把握したり、多くの市民の方々に協力いただきながら、これまで探究を進めてまいりました。

その際、啓発のために自作のポスターやパンフレットを作成したい、イベントを開催して市民の声を聞きたい、など、毎年生徒の発想は広がりを見せ、有意義なものへと「進化」していくのですが、費用のかかる取組については、なかなか実現できずにいました。

そこで今回、「**郷土探究コンペティション**」を開催し、活動において費用が必要な班は、プレゼンによって活動費を獲得するコンペを実施することとしました。条件はあるものの、全57班中**6班がエントリー**し、様々な企画を提案、そのための費用の概算や運用計画等を持ち時間の中でプレゼンしました。

活動費を獲得するため、自身の案を形にするため、その熱量は素晴らしい、大人顔負けのプレゼンを行いました。



今回は6班とも、条件を充たすものであるとともに、その必要性や効果を鑑み、支援することになりました。

生徒達はこの探究活動で、様々なことを学んでいきます。この年齢からコンペを経験することはあまりありません。本校が目指す「**いよいよG5S**」の5つの力、「マネジメント」「リサーチ」「シンキング」「コミュニケーション」「チームワーク」の全てが凝縮した、プレゼンを聞くことができ、**生徒達の確かな成長**を感じたところです。このエネルギーが、地域課題解決に向かうと思うと、未来は明るいものだと感じずにはいられません。

**郷土探究コンペティション**

お金の必要な皆さんのアイディア、形にしてみませんか？

●実施費用：1回 上限5000円(1回のみ)  
●支度費：ナシ(旅費・宿泊料等)

●注意事項：ナシ(旅費・宿泊料等)

●費用や個人の交際費等は各自負担

●実施は審査報告を提出してもらいます

●申込方法：以下のQRコードから毎回エントリー

●コンペ開催日：11/19(水)

●エントリー期間：

10/15～11/5

※エントリーに必要な情報はQRで確認

※開催はSSH推進室様まで

- 九州大学(工学部・理学部・農学部・人文科学研究院)
- 九州工業大学(情報工学部・大学院 生命体工学研究科)
- 鹿児島大学(理工学研究科附属 天の川銀河研究センター)
- 宮崎大学(工学部・農学部)
- 都城工業専門学校

また、国際的活動を意識した英語発表中心のコースとして、

- 沖縄科学技術大学院大学(OIST) にも参加します。

SSHの支援を受けて実施できる大規模な取組です。科学系探究活動実践中の理数科の皆さん、まずは外に出て、多くを学び、校内に普及してくれることを願っています！

